



2023年8月14日

各 位

会社名 株式会社ピアラ  
代表者名 代表取締役社長 飛鳥 貴雄  
(コード番号: 7044 東証プライム)  
問合せ先 専務取締役 大熊 影伸  
(TEL 03-6362-6831)

## 2023年12月期第2四半期(連結・個別)業績予想と

### 実績の差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に公表いたしました、2023年12月期第2四半期(連結・個別)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想と実績との差異

(1) 2023年12月期第2四半期連結業績予想と実績の差異(2023年1月1日~2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,465	△101	△125	△129	△18円62銭
今回実績値(B)	4,920	△104	△86	△92	△12円54銭
増減額(B-A)	△544	△3	46	42	
増減率(%)	△10.0	-	-	-	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	6,022	△67	△19	△27	△4円01銭

(2) 2023年12月期第2四半期個別業績予想と実績の差異(2023年1月1日~2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,213	△101	△104	△15円06銭
今回実績値(B)	4,804	△10	△37	△5円38銭
増減額(B-A)	△408	90	67	
増減率(%)	△7.8	-	-	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	5,953	14	△27	△2円25銭

##### 2. 差異の理由

###### (1) 連結業績

売上高につきましては、大手クライアントで広告予算の縮小が発生していることや、システム開発遅延によるクライアントへの提案遅れが要因となり当初の予定を下回りました。

営業利益につきましては、ポートフォリオ改革に向けた組織変更を実施したことで、粗利率改善が改

善できており、マーケティングDX（異業種展開）が順調に推移しているものの、一部の子会社における回復施策が遅れていることで当初の想定を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当初の想定より為替相場が円安に推移したことで保有する外貨建資産の換算差益が発生し、為替差益に36百万円を計上したこと等が影響し、当初の想定を上回りました。

## （2）個別業績

売上高につきましては、連結業績と同様に大手クライアントで広告予算の縮小が発生していることや、システム開発遅延によるクライアントへの提案遅れが要因となり当初の予定を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、ポートフォリオ改革に向けた組織変更を実施したことで、粗利率及び営業利益の改善、マーケティングDX（異業種展開）が順調に推移していることや、当初の想定より為替相場が円安に推移したことで保有する外貨建資産の換算差益が発生したこと等が影響し、当初の想定を上回りました。

なお、2023年12月期の通期（連結・個別）業績予想につきましては、現時点において予想数値に変更はありません。

以 上